

人間総合学群 人間文化学類 日本文化専攻・英語コミュニケーション専攻 教職に関する科目

	ディプロマポリシー	全学DP		自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成			
学修指針・学修到達度	到達度 lv4	【関心・分析・探求・自立】 広く社会・自然・人間について多角的な知見を有し、論点を整理しながら、解決へ向けて確実に探求し続けることができる。	【遵守・忠告・道徳・倫理】 社会的ルールを遵守しつつ、仏教をはじめと人間存在に関する深い洞察を学び、人間的な向上を目指すことができる。	【会話・弁論・論述・共感】 自らの考えを論理的に口頭で説明したり、高度な内容を、読者の反応を予想しつつ的確で効果的な表現を用いつつ文章化することができる。	【社会・参加・公共・責任】 現代社会の仕組みを深く理解し、自立した社会人としての責任感をもつ、ボランティア活動など、社会をよりよくするための活動に参加することができる。	【基礎・応用・実践・自学】 専門分野に関する深い知識を有し、諸問題に適切に応用しつつ、新たな知見を求め自らすすんで学習活動を維持することができる。	【批判・論理・証拠・発展】 授業や書物等から得たい知識について、論理的に批判し、かたがたにその新しい考えをいくとすることができる。	【基礎・応用・実践・自学】 各専門分野に必要となる高度な技術力を修得し、それに見合う各種資格等を自らに磨きつけることができる。	【発見・模索・計画・解決】 自らすすんで眼前の問題と向かい合い、自分なりの方法を駆使して、計画的に解決に導くことができる。	
	到達度 lv3	【関心・分析・探求】 広く社会・自然・人間について、多くの情報を適切に取捨選択しながら整理し、問題意識を深めていくことができる。	【遵守・忠告・道徳】 多くの社会的価値観に触れ、柔軟なものを身につけたうえで、社会の基となる人間性に気付くことができる。	【会話・弁論・論述】 自らの考えを論理的に口頭で説明したり、読者の反応を予想しつつ、的確な表現を選びながら文章にまとめたりすることができる。	【社会・参加・公共】 現代社会の仕組みを理解したうえで、よりよい社会を目指して市民活動に参加しようとするすることができる。	【基礎・応用・実践】 専門分野に関する深い知識を有し、諸問題に適切に応用しつつ、自分なりの発見を目指すことができる。	【批判・論理・証拠】 授業や書物等から得たい知識について、その反証となる実例を挙げつつ、論理的に批判することができる。	【基礎・応用・実践】 専門分野の技能に習熟したうえで、各種資格を取得したり、各種検定等に合格したりすることができる。	【発見・模索・計画】 自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決法を考え、解決に向けて実行すべき手順を把握することができる。	
	到達度 lv2	【関心・分析】 身の回りの事象について、複数の資料に目を通し、問題点を整理することができる。	【遵守・忠告】 自身の健康に気を配り、社会のマナーやルールを守り、自分の周囲の人々の行動にも配慮することができる。	【会話・弁論】 自らの考えをわかりやすく口頭で説明したり、簡潔な表現で文章にまとめたりすることができる。	【社会・参加】 現代社会の仕組みを理解し、自分なりに社会活動に参加しようとするすることができる。	【基礎・応用】 専門分野に関する知識を備え、各種知識を自らが当面に適用することができる。	【批判・論理】 授業や書物等から得たい知識について、論理的に矛盾点を見出し批判することができる。	【基礎・応用】 専門分野で必要とされる基本技術を応用し、物事に対応することができる。	【発見・模索】 自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決模索することができる。	
	到達度 lv1	【関心】 身の回りのさまざまな事象について、関心を持つことができる。	【遵守】 自身の健康に気を配り、社会のマナーや集団でのルールを守ることができる。	【会話】 自らの考えを口頭で説明したり、メモにまとめたりすることができる。	【社会】 現代社会の仕組みに関心をもち、周囲の人びとと協調することができる。	【基礎】 専門分野に関する概念や専門用語が理解できる。	【批判】 授業や書物等から得たい知識について批判的に対することができる。	【基礎】 専門分野で必要とされる基本技術を身につけることができる。	【発見】 眼前にある課題に対して、その問題点を把握することができる。	
	学年	学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
教科の指導法に関する科目 教科及び	3	国語科教育法Ⅰ					◎	○	○	◎
	3	国語科教育法Ⅱ					◎	○	○	◎
	3	国語科教育法Ⅲ					◎	○	○	◎
	3	国語科教育法Ⅳ					◎	○	○	◎
	3	英語科教育法Ⅰ					◎	○	○	◎
	3	英語科教育法Ⅱ					◎	○	○	◎
	3	英語科教育法Ⅲ					◎	○	○	◎
教育の基礎的理解等に関する科目	1・2	教育原理	○	△			◎	○		
	1	教職入門	○	△	◎		◎			
	2	教育制度論	○	△		○	◎			
	2・3	発達心理学	○	△			◎	○		
	2	特別支援教育概論		○			◎		○	

	学年	学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
教育の基礎的理解等に関する科目	2	教育課程論	○	△		○	◎			
	2・3	道德教育の指導法 (中一種免のみ)		○			◎	○	○	
	2	総合的な学習の時間の指導法		○			◎	○	○	
	2・3	特別活動の指導法		○			◎		○	△
	2・3	教育方法・技術					◎	○	○	△
	1	ICT活用の理論と方法					◎	△	◎	○
	2・3	生徒指導論 (進路指導を含む)			○		◎	○	○	
	2・3	教育相談	○		◎		◎	○		△
	3	教育実習指導			○		○		◎	△
	4	教育実習Ⅰ(中学校)			○		○		○	◎
	4	教育実習Ⅱ (高等学校)			○		○		○	◎
大学が独自に 設定する科目	4	教職実践演習 (中・高)		△	○				◎	○
	3	介護等の体験		△	○				○	◎
	2・3	視聴覚教育メディア論					◎	○	○	
学校図書館司書 教諭課程科目	2・3	道德教育の指導法 (高一種免のみ)		○			◎	○	○	
	3・4	学校経営と学校図書館					◎	○	○	
	3・4	学校図書館メディア の構成					◎	○	○	
	3・4	読書と豊かな人間性		△			◎	○	○	
	3・4	学習指導と学校図書館					◎	○	○	
	3・4	情報メディアの活用					◎	○	○	